

	発行者	東京書籍株式会社	開隆堂出版株式会社
	書名	NEW HORIZON Elementary English Course	Junior Sunshine
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	「世界へつながるトビラを開こう！」をキャッチフレーズに、2年間で児童のコミュニケーション能力の基礎を育てるとともに、多様性を尊重し、共生の意識を持って世界へつながろうとする心を育成できるよう工夫されている。	自他を大切にすることを育み、豊かな人間関係を築き、主体的に学習する意欲を高めるため、実際に英語で気持ちや考えを伝え合う活動が充実するよう工夫されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①各単元4パート構成のスマールステップで、得た知識を実際のコミュニケーションで活用し習得できるよう配慮されている。 ②「Check Your Steps」というテーマ別の振り返りが設定されており、クラゲチャートなどの思考ツールを使って伝えたい内容を整理し、既習内容をつかって発表する機会が設けられている。 ③各単元の最後に子どもが自分の学習を振り返る機会があり、世界やSDGsについて学ぶ機会があるなどの工夫がされている。	①ペアやグループで伝え合う活動を積み重ねながら、知識・技能が習得できるよう配慮されている。 ②ペアやグループで伝え合う機会が多く設けられており、子どもが場面に応じて自分の伝えたいことを考え、表現することができるよう配慮されている。 ③「Really？」などの対話を続ける表現がイラストとともに紹介されており、子どもが相手とかかわる楽しさをより味わえるよう配慮されている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①②③④市町の方針と合致している。	①②③④市町の方針と合致している。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①児童が学習の見通しを持ち、スマールステップで活動を積み上げることができるように工夫されている。 ②他教科と関連が図られている。チャンツや Small Talk などの活動は短時間学習でも対応できるように設定されている。 ③スマールステップで活動を行い、聞く活動から話す活動へとスムーズに移行できるように配慮されている。 ④日本の良さを世界に発信しようとする児童を育てるために、外国出身者の目線から日本の文化の良さを紹介する内容が盛り込まれている。 ⑤目的・場面・状況に応じて、学習した英語表現を使う様々な活動が設定されている。 ⑥6年生の巻末に中学校の学習内容に触れるページが設けられている。 ⑦紙面に二次元コードが示されている。 ⑧文字を練習する際、左きき児童への配慮がされている。 ○ 5年生で、音声中心の学習を行い、6年生で、徐々に読む活動、書く活動を導入している。	①自分の成長や課題を確かめながら学習に取り組めるように工夫がされている。また、ペアワークやグループワークを多く配置することで対話的な学びが実現できるように工夫されている。 ②他教科と関連が図られている。教科書自体で評価可能な「Let's Check」のページが設定されている。 ③音声から文字学習の繋がりを意識し、各単元末に読む活動を行う等、4技能5領域の能力を習得できるように配慮されている。 ④5年生で「地域の良さ」、6年生で「日本の良さ」を言語活動のテーマにした単元が設定されている。 ⑤児童に身近な言語活動がスマールステップで配置されている。 ⑥中学校の学習を踏まえ、文字に関する学習の充実を図っている。 ⑦紙面に二次元コードが示されている。 ⑧鉛筆で書きやすく、消しやすい用紙を使用している。 ○ 単元で身に付けさせたい力を明確にし、バックワードデザインで言語活動を積み重ね、資質・能力を身に付けることができるように単元構成を工夫している。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量配分は1ページあたり1時間を基本とし、無理のない程度に配分されている。 ②別冊の絵辞書が付属されている。 ③各単元における流れを統一し、活動が紙面の定位置に配置されている。落ち着いた色のデザインになっており、ユニバーサルデザインの書体やなぞり書き専用の書体を使用している。 ・デジタル教科書について、個別学習に活用できる音声動画などのコンテンツが掲載されている。	①各学年無理のない程度に設定されているが、単元によって弾力的に運用できる構成になっている。 ②各学年、別冊の絵辞書が付属されている。 ③カラーユニバーサルデザインを採用しており、欧文はオリジナルの手書き書体を使用している。 ・デジタル教科書について、個別学習に活用できる音声動画などのコンテンツが掲載されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①各単元の冒頭部分にアニメーション映像があり、学年ごとにストーリーに沿って、場面に適した英語表現が身に付けられるように工夫されている。5年生は身近なことから日本の紹介へと広げるように言語活動が設定されており、6年生では、世界のことや世界と日本の繋がりについて考える言語活動が設定されている。言語習得理論に沿った学習内容になるように、5年生では音声中心の学習を行い、6年生で徐々に読む活動、書く活動を行うように配慮されている。	①児童と同世代のキャラクターが成長する様子をストーリー仕立てで展開するように工夫されている。また、英語を使用して考えや気持ちを伝え合う活動が多く設定されている。音声で十分に慣れ親しんだ英語と文字を結びつける活動の「Let's Listen and Read」が設定されており、音声から文字の学習が円滑にできるように工夫されている。また、5年生の始めから、単元末に「Story Time」が設定されており、単元で学習した語句を使って読む活動を積極的に取り入れている。
	②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②5年生の冒頭「Let's start」では、中学年で慣れ親しんできた言語材料を取り上げ、5年生の学習にスムーズに接続できるように配慮されている。また、付属の絵辞書に中学年の内容をまとめたページが設定されている。	②5年生の冒頭「Let's Review」では、中学年で学習した会話表現の振り返りをおこない、5年生にスムーズに接続できるように配慮されている。また、付属の絵辞書に中学年で学習した語彙も収録されている。
	③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③単元末に、様々な国の人物や題材を取り上げた「Over the Horizon～世界の文化を知る～」のパートがあり、外国の映像を見たり、日本語と英語を比較したりすることにより、言語の背景にある文化を理解できるように工夫されている。また、SDGsに関連した題材を取り上げており、6年生の Unit7「Save the animals.」では、動物や自然保護について扱った単元になっている。	③各単元に設置されている「Let's Watch and Think」では、学習する表現を使って外国の子どもたちが自国の生活や文化を紹介するように工夫がされている。また、「Around the World」「Our World」のコーナーで世界各国の言語、生活、文化の紹介やクイズが収録されている。6年生の単元末にある「Story Time」の物語の内容がSDGsにつながる内容になっている。

	発行者	株式会社三省堂	教育出版株式会社
	書名	CROWN Jr.	ONE WORLD Smiles
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	「楽しい学び 豊かな心 確かな力」をキャッチフレーズに、学びに向かう力、ことばを使う力、考える力、他者とかかわろうとする心の4つの力を育てることを基本方針としている。目標→見通し→ふりかえりのプロセスを大切に主体的・協働的に学べるよう工夫されている。	「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」をキャッチフレーズに、自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てることを基本方針とし、学校生活に合ったテーマや活動で、子どもが楽しく学べるよう工夫されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①音声から文字、練習活動からコミュニケーション活動へなど、スモールステップで子どもが無理なく学べるよう配慮されている。 ②既習内容を思い出したり、考えを整理したりする活動により、児童の考えや気持ちを尊重した活動になるよう工夫されている。 ③なぜ英語を学ぶのか、どのように学ぶのかを「HOP STEP JUMP」として示し、児童の学ぶ意欲を引き出し、自ら目標を立て、児童が協働的な活動を通して学び合えるように工夫されている。	①様々な言語活動を取り入れ、子どもが4技能5領域の力をバランスよくつけられるよう配慮されている。 ②子どもの実生活に近い場面設定と活動を取り入れており、子どもが考えたり、表現したりしやすいよう工夫されている。 ③実際の使用に即した場面設定、子どもの興味を引き出す話題、他者とかかわる活動をとおして、子どもが楽しく学びに向かえるように工夫されている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①②③④市町の方針と合致している。	①②③④市町の方針と合致している。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①児童の立てた目標に向かって学び合いながら学習が進められるように工夫されている。 ②他教科と関連が図られている。各活動が10分～15分に設定されており、短時間学習にすることもできる。 ③各 Lesson の練習活動では、知識及び技能の習得を中心とし、繰り返しながら言語を習得できるように配置されている。 ④日本や地域を紹介する Unit が各学年に設定されている。 ⑤児童にとって身近な場面の言語活動が設置されている。 ⑥6年生に、中学校生活を展望する Lesson が設定されている。 ⑦紙面に二次元コードが示されている。また、プログラミングについて学ぶ活動が設定されている。 ⑧情報を的確につかめるように、囲みや罫線、白地などが工夫されている。 ○ 各学年3つの大きな単元から構成されており、単元内は HOP で見通しを持ち、STEP で語句や表現を身に付け、JUMP で表現するという流れになっている。	①関わり合いを意識した言語活動を行いながら学習が進められるように工夫されている。 ②他教科との関連が図られている。各活動が10～15分に設定されており、短時間学習にすることもできる。 ③文構造や基本的な表現について段階を踏みつつ、繰り返し学習できるように配置されている。 ④5年生で外国と日本を比べる単元、6年生で日本の文化を海外に向けて紹介する単元が設定されている。 ⑤児童にとって身近で取り組みやすい言語活動が設定されている。 ⑥6年生の最後の単元では、これまでに学んだことを使って自分のことを書く単元が設定されており、中学校での自己紹介の授業でも活用できるように工夫されている。 ⑦紙面に二次元コードが示されている。 ⑧4線の上下差の比率が4:5:4で書く練習がしやすい。 ○ Lesson 冒頭に単元目標を示し単元末に目標に関したやりとりや発表をする構成になっている。また、国語の「おてがみ」等他教科の既習学習を英語の学習として再び取り上げる等の工夫がされている。
（エ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量配分は見開き1ページあたり1時間を基本とし、無理のない程度に配分されている。 ②別冊の絵辞書が付属されている。 ③見やすいレイアウトや色覚の刺激が少ないカラーデザインにしている。欧文は専用の手書きフォントを使用している。 ・デジタル教科書について、個別学習に活用できる音声動画などのコンテンツが掲載されている。	①各 Lesson、7時間配当を基本とし、余裕を持って指導できる分量になっている。 ②絵辞書が巻末に内蔵されている。 ③カラーユニバーサルデザインの観点の下に作成されており、文字もユニバーサルフォントを使用している。また、巻末のシールカードが活用しやすいように工夫されている。 ・デジタル教科書について、個別学習に活用できる音声動画などのコンテンツが掲載されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①「聞くこと」「話すこと」については、各 Lesson で目的、場面、状況をアニメーションで示し、メインキャラクターの会話を聞いてインプットし、練習活動で口慣らしをした後、少しずつ表現活動に移行するようになっている。「読むこと」の学習については、Unit 終わりに、知っている語句や絵から想像して読む「ケンの冒険」と「世界のお話」の2つの物語が設置されている。	①学校や家庭生活といった児童の身近な暮らしに関わる場面が言語活動の中心になっている。また、ペアやグループで活動し、英語を話す内容やコミュニケーションについて気づきや思考を促すように工夫されている。5年生では、「聞く」「話す」を中心に、徐々に「読む」「書く」の内容に慣れ親しませていき、6年生では、「読む」「書く」の分量が少しずつ増えるように工夫されている。
	②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②5年生冒頭「英語で言ってみよう」では、中学年で学習した語句や表現を活動として振り返る設定になっている。また、外国語活動で学んだ表現について、5年生を中心に扱うように設定されている。	②5年生の冒頭「Let's Start Together」では、中学年の表現活動を振り返る設定になっている。また、5年生前半で、中学年で学んだアルファベットの読み方と形、書き方を重点的に扱うように設定されている。
	③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、異なる文化背景を持つ人物をメインキャラクターに据えている。また、各学年2回「Hello, World」という世界を知るページが設定されている。教育、平和、まちづくりについて今日的な課題が取り上げられている。	③日本文化については、5年生で都道府県を紹介する単元、6年で日本の文化を紹介する単元が設定されている。海外の文化については、6年生で世界の名所を扱う単元が設定されており、「World of Smiles」という海外に住む同年代の子ども達の生活を紹介するコーナーが各学年に設置されている。「Let's Look at the World」のコーナーでは、SDGsや環境保護にふれる機会を設けている。

	発行者	光村図書出版株式会社	株式会社新興出版社啓林館
	書名	Here We Go!	Blue Sky elementary
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編修の趣旨と工夫	「多様な考えや価値観を認め合えるように」「言葉を通して伝え合う喜びに気づけるように」「楽しく学び、英語が大好きになれるように」という方針のもと、言語活動が充実するよう、教材が工夫されている。	言葉を使うための知識がしっかり身につく、考える力を育む、多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育むことを基本方針とし、スモールステップで子どもが学べるよう工夫されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①スモールステップで、子どもたちが基本的な知識や技能を身につけられるよう工夫されている。 ②児童が「伝えたい」と思えるような目的、場面、状況が設定されており、自分の考えや気持ちを表現する活動を単元の中心に設定してある。 ③「できるようになること」を示したページには、英語の学び方の例がのっており、それを参考に子どもが自分はどうのように学びたいか考え記入できるよう工夫されている。	①「インプット→ミニアウトプット」を繰り返すことで、少しずつ「わかった！」「できた！」を積み重ねられるよう配慮されている。 ②聞こえた英語の意味やどんな場面で使えそうか考える機会を設けている。また、子どもが表現する際には、コミュニケーションで大切なことを考えられるよう工夫されている。 ③各国のジェスチャーやユニバーサルデザインを比べることで、子どもが異文化に触れられるよう工夫されている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①②③④市町の方針と合致している。	①②③④市町の方針と合致している。
	（ウ）内容と構成 ○小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①単元の始めに Goal と学習の流れを示し、単元末に自己評価と次に生かしたいことについて考える機会が設けられている。 ②他教科と関連が図られている。また、言葉の学習として特に国語科との関連を図っている。活動の多くが、10分程度に設定され、短時間学習にすることもできる。 ③読む、書く活動は十分に慣れ親しんでから、文字、単語、語句と段階を踏んで無理なく学べるように工夫している。 ④5年生で自分の町を紹介する単元、6年生で日本の伝統行事を紹介する単元が設定されている。また、日本語に触れるページが多く設定されている。 ⑤誰に、何のために伝えるかという視点を大切にし、児童が伝えたいと思える活動を中心に設定している。 ⑥「中学校に向けて英語学習を続けて行こう」という学習コーナーを設けている。 ⑦紙面に二次元コードが示されている。 ⑧色覚特性がある児童に配慮した配色になっている。 ○単元は Hop、Step、Jump の構成になっており、それぞれの見開き1ページで共通の構成になっている。	①単元始めに Goal と学習の流れが示されている。また、生活に関連した対話の活動が設定されている。 ②他教科と関連が図られている。 ③「インプット」「ミニアウトプット」を繰り返して、コミュニケーション活動に繋がるように工夫されている。 ④行ってみたい国を伝える単元や日本の魅力を海外に発信する単元が設定されている。 ⑤聞く活動のみにならないように、自分のことを話す活動を取り入れている。 ⑥6年生最後の単元では、入ってみたい部活動等、中学生活について考える内容になっている。 ⑦紙面に二次元コードが示されている。 ⑧4線の幅の比率が5:6:5を採用し、書く練習がしやすい。 ○各単元に3Stepを設け、「聞く」「話す」を繰り返しながら、スモールステップで学習を積み上げるように工夫されている。
（イ）分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①単元は、各学年8つに設定されており、負担なく学習できる。 ②各学年取り外しができる絵辞書が内蔵されている。 ③4線の幅に対応した独自の英語フォントを使用している。また、日本語のフォントは、光村の国語科の教科書に準じたフォントと統一している。 ・デジタル教科書について、個別学習に活用できる音声動画などのコンテンツが掲載されている。	①余裕を持って学習できる分量になっている。 ②巻末にワードリストが掲載されており、アンダーライン上に単語が記されている。 ③情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストを使用している。また、ユニバーサルフォントを使用している。 ・デジタル教科書について、個別学習に活用できる音声動画などのコンテンツが掲載されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①2学年を通して、教科書が一貫したストーリーになっている。単元冒頭にアニメーションの動画が用意されており、コミュニケーションの目的や場面、状況がわかりやすくなっている。また、巻末の「All About Me」では、学年の成果が一覧できるシートが用意されており、英語の学びをポートフォリオのように掲示することができる。	①言語材料の使用場面や、児童が目指すゴールのイメージがアニメーションで掲載してある。児童の生活場面に関連した場面や状況が設定されている。活動を通して学べるように配慮されている。
	②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②5年生の冒頭の Let's Start では、中学年で学習した英語表現に繰り返し触れられるようになっている。また、別冊の絵辞書には、「外国語活動のふりかえり」や紫色の足跡マークがあり、中学年の学習が生かせるようになっている。	②5年生の冒頭の Pre Unit では、中学年で学習した語句や表現に触れるようにしている。また、各 Unit 扉ページでは、既習事項を使ってやりとりできるイラストや写真を掲載している。ローマ字は訓令式からへボン式へと移行できるように配慮している。
	③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③単元内の「Let's watch and think」のコーナーでは、各国の小学生が文化を紹介する内容を取り上げている。また、「世界の友達」のコーナーでは、各国の小学生の考えや暮らし方について紹介している。「言葉について考えよう」のコーナーでは、日本語と英語について説明され、違いに気づかせるような内容になっている。「英語物語」のコーナーでは、SDGs の目標を添え、児童に気づきを促す工夫がされている。	③「Did you know?」のコーナーで異文化の話題を取り上げ、児童が国際理解、異文化理解を深められるようになっている。「Friends around the World」では、世界各地の子ども達が英語で話し、様々な国のアクセントに触れ、自分たちと共通することや違うことを考えるきっかけを作るような内容になっている。SDGs については、「わくわくSDGs」というコーナーが設けられている。